



わあー、すごい！わあー、きれい！

学 園 長 小 島 澄 人

朝、門に子どもたちを迎えに行こう、そう思って歩き出す、一面のイチヨウのじゅうたんです。わあ綺麗、その程度の感激でした。砂場の前に来ると一組の親子が入ってきました。いきなりです、「わあー、すごい！」その仕草にびっくりです。子どももその美しさにびっくりです。また次の親子に出会いました。またまたいきなり、「わあー、きれい！」その表情は全身表現でした。立ち止まって見とれていました。毎日のように見る光景に当たり前のようには通り過ぎていたことに大反省でした。

幼稚園のあちこちにみられる秋の紅葉、本当にきれいです。山に登る両サイドはモミジの紅葉の絶景です。晴れた日、その下に居座っていたい、うっとりする時間です。池の上の一面の紅葉の写真、本当に素敵です。あの二組の親子に限らずたくさんの方々に感動をくれる紅葉です。誰も足を踏み入れない、そうはいきません。子どもたちが大勢過ごす教場、走り回り寝っ転がる場です。過ごした一日、それを、教職員が大変な思いをして掃き掃除をします、本当にありがたい、けど、掃かないならどうなるのかな、そう思うこともあります。一面のあの美しい光景は見ることもないですね。紅葉の散る風情、朝起きて一面の美しいあの光景、なんとも言えません。また自然の魅力に感動の、感動の、感動の日々です。ある先生がこう言った言葉が思い出されます、「毎日毎日掃き掃除大変だが、掃く葉っぱが毎日違う、いろんな葉っぱの大発見です」。他園で働いていた先生がこぼした言葉です。

さて12月、子どもたちの発表会、楽しみですよね。ある意味、子どもたちの輝く日かもしれません。園での輝きを見てもらおうと楽しみにしている子どもたちです。予行で私のそばを通り過ぎる子どもたちの表情は素敵です。本番では見られないうれしい日です。4月に始まり一年間、子どもにとって毎日が育ちの場です。友だちと初めて話をしたという「すごい日」、「せんせい！と、甘えて抱きついたうれしい日」、「とらぶって悲しい日」、「友だちにすごいと褒められた日」、それぞれがうれしい日です。発表会、わずかな時間ですが、たとえじっとして動かなくても、違った動きをしても、子どもたちは大勢のお客さんの前に立っているんです。すごいことです。

手が、足が、腰が、頭が動く仕草、セリフを精一杯いう、周りの仲間と動きや踊りを合わす子どものすごさにはびっくりです。車椅子の子も言葉が出ない子も、一緒に演じる発表会、この日が大好きです。

おもちつき、クリスマス、そしてお正月、いよいよ今年度も終わりますが、いろんなことにありがとうございます。感謝の一年でした。よいお年を。

